

古文ドリル：「が」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「が」の正体（4パターン）

古文の「が」は **現代語と用法が異なる** 点が試される。大きく **4種類** あります。

種類	接続/品詞	判別ポイント	例
① 格助詞「が」（主格）	体言・連体形接続	「～が」の主語	我 が 思ふ
② 格助詞「が」（連体修飾格）	体言・連体形接続	「～の」と訳す	君 が 代
③ 格助詞「が」（同格）	連体形接続	「～であって」と訳す	あはれなる が 、…
④ 接続助詞「が」	連体形接続	順接・逆接「～と／～けれども」	行く が 、戻る

識別の鉄則

1. **主格「が」** は現代語と同じ「～が」（主語を示す）
2. **連体修飾格「が」** は現代語の「～の」に相当（古文独特）
3. **同格「が」** は「～であって」（連体形＋「が」＋同じものを別の言葉で説明）
4. **接続助詞「が」** は連体形＋「が」＋別の文 → 順接 or 逆接（中世以降に発達）
5. 古文では「我が・君が・誰が」など人称代名詞＋「が」は **連体修飾格** が多い（現代の「～の」）

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① 「我が／君が／誰が／人が」は9割「～の」（連体修飾格）

人称代名詞＋「が」を見たら、まず「～の」と訳してみる。例：「我**が**心」→「私**の**心」／「君**が**代」→「君**の**代」現代語の「～が」（主格）で訳すと違和感があるはず。

コツ② 「が」の直後で見分ける

- 直後が **体言（名詞）** → 連体修飾格「～の」（例：我が家）
- 直後が **用言（動詞・形容詞）** → 主格「～が」（例：花が咲く）
- 直後が **読点・別の文** → 接続助詞「～けれども／～と」
- 直後で **同じ人・物を別の言葉で説明** → 同格「～であって」

コツ③ 同格「が」は「(連体形) が、～なる○○」のパターン

連体形+「が」のあと、**同じ人・物を別の表現で言い換え**ている → 同格。例：「白き鳥**が**、いと大きなる、…」 → 「白い鳥**であって**、とても大きいものが…」 ヒントは「、(読点)」が「が」の直後にあること。

コツ④ 接続助詞「が」は「～けれども」で訳して通れば確定

連体形+「が」のあと **別の文** が続き、**逆接で訳して意味が通れば** 接続助詞。例：「行く**が**、戻る」 → 「行く**けれども**、戻る」

試験本番でのチェック順序

1. 「が」の **直前** が体言か連体形かを確認
2. 「が」の **直後** で品詞をチェック（体言／用言／読点／別文）
3. 人称代名詞+「が」なら即「～の」（連体修飾格）を疑う
4. 連体形+「が、～」で同格／別文なら接続助詞

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- 「我が心」を現代語感覚で「私が心」（主格）と誤答 → 古文では「私の心」（連体修飾格）
- 同格「が」を主格と取り違える → 直後が読点+言い換えなら同格
- 「君が代」を「君が栄える代」と主格で訳す → 「君の御代」（連体修飾格）

採点表

- 基礎 (Q1～Q20) : /20
- 標準 (Q21～Q50) : /30
- 応用 (Q51～Q80) : /30
- 入試レベル (Q81～Q100) : /20
- 合計 : /100

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

4パターンを識別する基本問題。

Q1. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が思ふこと。

Q2. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が代は千代に八千代に。

Q3. 次の傍線部「が」を識別せよ。

あはれなる人が、また心優しき人なり。

Q4. 次の傍線部「が」を識別せよ。

行くが、また戻る。

Q5. 次の傍線部「が」を識別せよ。

月が出づ。

Q6. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が家。

Q7. 次の傍線部「が」を識別せよ。

風が吹く。

Q8. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が心。

Q9. 次の傍線部「が」を識別せよ。

いみじき人が、また気高き人。

Q10. 次の傍線部「が」を識別せよ。

春来るが、まだ寒し。

Q11. 次の傍線部「が」を識別せよ。

誰が問ふ。

Q12. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が思ふ人。

Q13. 次の傍線部「が」を識別せよ。

鳥が鳴く。

Q14. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が御代。

Q15. 次の傍線部「が」を識別せよ。

心ある人が、また物静かなる人。

Q16. 次の傍線部「が」を識別せよ。

行かむと思ふが、雨降りり。

Q17. 次の傍線部「が」を識別せよ。

父が仰せ。

Q18. 次の傍線部「が」を識別せよ。

雨が降る。

Q19. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が身。

Q20. 次の傍線部「が」を識別せよ。

笛吹く人が、また歌詠む。

基礎編 / 20

【第2部】 標準編 (Q21～Q50)

接続助詞と格助詞の見分け、文脈での判別を含む応用問題。

Q21. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が心知り給はず。

Q22. 次の傍線部「が」を識別せよ。

月明らかなる夜なるが、雲も出でぬ。

Q23. 次の傍線部「が」を識別せよ。

風吹くが、波荒し。

Q24. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が心、君は知らじ。

Q25. 次の傍線部「が」を識別せよ。

月が出でて、夜明けたり。

Q26. 次の傍線部「が」を識別せよ。

父が仰せに従ふ。

Q27. 次の傍線部「が」を識別せよ。

いみじき宿世の人なるが、いま落ちぶれぬ。

Q28. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が身を恨み給ふな。

Q29. 次の傍線部「が」を識別せよ。

春来るが、なほ寒し。

Q30. 次の傍線部「が」を識別せよ。

風が吹けば、波立つ。

Q31. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が御志。

Q32. 次の傍線部「が」を識別せよ。

春行くが、なほ花散らず。

Q33. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が生まれし日。

Q34. 次の傍線部「が」を識別せよ。

月清き夜なるが、また風静かなり。

Q35. 次の傍線部「が」を識別せよ。

雪降り出づるが、いとあはれなり。

Q36. 次の傍線部「が」を識別せよ。

父が怒り給ふ。

Q37. 次の傍線部「が」を識別せよ。

物言はぬ人なるが、よく心知り給ふ。

Q38. 次の傍線部「が」を識別せよ。

心安らかなる人が、いと頼もし。

Q39. 次の傍線部「が」を識別せよ。

春雨降るが、花咲かず。

Q40. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が御身を案じ給ふ。

Q41. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が思ふこと、人に語らじ。

Q42. 次の傍線部「が」を識別せよ。

名にし負ふ都鳥なるが、いま我れに告ぐ。

Q43. 次の傍線部「が」を識別せよ。

風が吹くも、波静かなり。

Q44. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が心、いまだ定まらず。

Q45. 次の傍線部「が」を識別せよ。

月明らかなるが、雲なくして照らす。

Q46. 次の傍線部「が」を識別せよ。

鶯鳴くが、まだ春なほ浅し。

Q47. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が家、京にあり。

Q48. 次の傍線部「が」を識別せよ。

鳥の飛ぶ**が**見ゆ。

Q49. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君**が**仰せに従ひ給へ。

Q50. 次の傍線部「が」を識別せよ。

いみじき宿世の人なる**が**、いかなる縁にてかかかる。

標準編 / 30

【第3部】 応用編 (Q51~Q80)

文脈・係り結び・引用が絡む応用問題。

Q51. 次の傍線部「が」を識別せよ。

あひ知りたる人**が**、また同じ道を行く。

Q52. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我**が**思ふ人、いま死にぬ。

Q53. 次の傍線部「が」を識別せよ。

月明らけき夜なる**が**、なほ寒し。

Q54. 次の傍線部「が」を識別せよ。

鳥のさへづるが、いとあはれなり。

Q55. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が御志ありて、世に伝はる。

Q56. 次の傍線部「が」を識別せよ。

知らぬ人が問ふ。

Q57. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が国の人、もろこしに渡る。

Q58. 次の傍線部「が」を識別せよ。

いみじき才ありし人なるが、世に出でず。

Q59. 次の傍線部「が」を識別せよ。

春の夜の闇はあやなし梅の花色こそ見えね香やは隠るる——この歌、人皆知るが、その心、知らず。

Q60. 次の傍線部「が」を識別せよ。

いと尊き人なるが、人前にては謙りて、自らを卑しめ給ふ。

Q61. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が心ながらも、悲し。

Q62. 次の傍線部「が」を識別せよ。

仏に祈らむがためなり。

Q63. 次の傍線部「が」を識別せよ。

春が過ぐる。

Q64. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が思ふ人にあらで、誰がゆゑかかかる目に遭ふ。

Q65. 次の傍線部「が」を識別せよ。

月清き夜なるが、なほ更けて、月かたぶく。

Q66. 次の傍線部「が」を識別せよ。

いとあはれなる人なるが、世を背き給ひぬ。

Q67. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が御身、健やかにあれ。

Q68. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が家に來たる人、皆もてなさず。

Q69. 次の傍線部「が」を識別せよ。

木の葉散るが、なほ風吹かず。

Q70. 次の傍線部「が」を識別せよ。

雨が降る音、いとあはれ。

Q71. 次の傍線部「が」を識別せよ。

いみじき宿世の人なるが、ありがたきこと多し。

Q72. 次の傍線部「が」を識別せよ。

桜花散るが、なほ春寂し。

Q73. 次の傍線部「が」を識別せよ。

月隠るるが見ゆ。

Q74. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が心、いま定まりぬ。

Q75. 次の傍線部「が」を識別せよ。

旅人が問ふ。

Q76. 次の傍線部「が」を識別せよ。

いと若き人が、また心しっかりせる。

Q77. 次の傍線部「が」を識別せよ。

名にし負ふ都鳥がゆゑ。

Q78. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我がゆゑに、君は苦しみ給ふ。

Q79. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が心、定まらず。

Q80. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が思ひ給ふやう。

応用編 / 30

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

Q81. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が身、いまだ若きを、なほ嘆く。

Q82. 次の傍線部「が」を識別せよ。

いみじき才ある人なるが、世に出でずして、惜しき限りなり。

Q83. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が御代、千代にもがな。

Q84. 次の傍線部「が」を識別せよ。

中宮、御文書かせたまふが、ことのほかに気高し。

Q85. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が思ふ人を見ず、なほ嘆く。

Q86. 次の傍線部「が」を識別せよ。

飛ぶ鳥のさへづり、いと聞きにくきが、なほ耳澄まして聞く。

Q87. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が心ぞ嘆かるる。

Q88. 次の傍線部「が」を識別せよ。

月明らかなる夜なるが、雲なくしてさやけし。

Q89. 次の傍線部「が」を識別せよ。

君が御身を案じ申し上げ給ふ人、世に多し。

Q90. 次の傍線部「が」を識別せよ。

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやしや。

Q91. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が心ながら、いかにせむ。

Q92. 次の傍線部「が」を識別せよ。

嵐の風吹くが、舟出でぬ。

Q93. 次の傍線部「が」を識別せよ。

月の出づるが待ち遠し。

Q94. 次の傍線部「が」を識別せよ。

我が思ひ嘆くこと、限りなし。

Q95. 次の傍線部「が」を識別せよ。

唐土の人なるが、和歌をも詠み給ふ。

Q96. 次の傍線部「が」を識別せよ。

雪降り出づるが見え給ふ。

Q97. 次の傍線部「が」を識別せよ。

春過ぎて夏来ぬるが、まだ涼し。

Q98. 次の傍線部「が」を識別せよ。

心ある人なるが、和歌の道に心入れ給ふ。

Q99. 次の傍線部「が」を識別せよ。

ありがたきもの。舅にほめらるる婿。また、姑に思はるる嫁の君。毛のよく抜くる銀の毛抜き。主そしらぬ従者。つゆの癖なき人。かたち心ありさま勝れすぐれて、世にふる程いささかきずなき。同じ所に住む人の、かたみに恥ぢかはし、いささかのひまなく用意したるが、見えがたきわざかな。

合計 / 100

あとがき

「が」の識別の核心： - 格助詞「が」（主格） 現代語と同じ「～が」（主語） - 格助詞「が」（連体修飾格） 現代語の「～の」に相当（古文独特） - 格助詞「が」（同格） 連体形＋「が」＋同じものを別の表現 - 接続助詞「が」 中世以降に発達、連体形＋「が」で逆接が多い

「我が・君が・誰が」は 連体修飾格 が圧倒的に多い（＝「私の・あなたの・誰の」）。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

© 個別指導塾フィット / 中本裕太 <https://kotennoosensei.com>